



地元農園コミュニティー



市内福祉施設視察



地元お囃子会

QUESTION

一般質問の答弁内容

[高齢者の居場所づくりについて]

本市の現在の高齢化率(65歳以上)

→五日市地区は34.3%、秋川地区は29.3%

本市が行ってきた高齢者の孤立防止の取組は?

→地域ごとの支えあい活動や介護予防リーダー活動、小宮ふれあい活動事業等を通じ、閉じこもりの解消や社会参加を促進。

高齢者の居場所づくりのため、東京都が令和5年度から始めたシニア食堂(TOKYO長寿ふれあい事業)を活用しては?

→他市の取組状況を確認するとともに、地域におけるニーズの把握に努める。

[五日市の景観形成について]

五日市地域の景観資源の保全に対する具体的な取組は?

→阿伎留神社や深沢家住宅など関連施設の中で保全や活用が図られている。地域の意見や要望を踏まえつつ、具体的な取組が必要か検討していく。

五日市駅前の地区計画の建築物等の形態又は意匠の制限は?

→建築物の外壁、屋根及び工作物の色彩は、刺激的な色を避け落ち着いた色彩を基調とするものとしている。

[古民家の活用について]

市街化調整区域における観光振興のために必要な宿泊施設・飲食店等への用途変更については?

→空き家や地域の課題に対応できるよう、市の行政施策等との連携を前提として、基準Oを運用するものとしている。

※基準O：市街化調整区域内の既存建築物を 活用した地域再生のための用途変更

[災害時の水の確保について]

令和6年能登半島地震での水の確保に対する教訓は?

→迅速かつ確実に水を供給できる体制を構築することが課題。

水の備蓄を五日市庁舎裏などに分散備蓄してほしい?

→五日市出張所西側倉庫の改修時に備蓄について整理したい。市内43カ所の災害時協力拠点井戸の拡充をするのはどうか?

→町内会・自治会長から要望があった際には対応する。

災害時に秋川の水を生活用水として個人利用するのは可能か?

→地震による断水など緊急時は可能だが基本的には都に申請が必要となる。

[若者の移住定住策について]

20代の転出超過の主な原因は①交通の便が良くない②生活環境が整備されていない③職場が遠いなど仕事上の事情などの理由があるが市はそれをどのように捉えているのか?

→転出された若者が多くの経験を積み豊かな人生を送って欲しいと願っている。同時に、若者が戻りたいと思えるような魅力的なまちづくりを進めていきたい。

奨学金返還支援をしてはどうか?

→若者の市内の定住促進や地元企業への就職に資する取組であるので、調査・研究していく。

令和6年6月定例会議(6月5日)

- (1)五日市地区の景観形成について
- (2)古民家の活用について
- (3)高齢者の居場所づくりについて
- (4)ふるさと納税について



令和6年9月定例会議(第2日9月3日)

- (1)災害時の水の確保について
- (2)若者の移住・定住策について
- (3)PFS
- 成果運動型民間委託契約方式について
- (4)PPP・PFI手法について
- (5)地域猫活動団体への支援について



COFFEE BREAK

馬と五日市について

五日市と言えば秋川溪谷や国立公園の玄関口として観光地のイメージが強いですが、かつては檜原で採れるスギ、ヒノキや炭を江戸へと運ぶことで栄えた五日市街道の宿場でもあります。そこで大活躍していたのが馬です。五日市の油屋旅館にはかつて馬を繋いでいた石が玄関先に置かれていたり、馬と歩む道中の安全を祈った馬頭観音が各所に残っています。自然豊かな五日市には馬が歩く姿が似合いますね。最近では再び五日市に馬を歩かせたい!と活動している団体もいます。



あきる野市にあるアルパホースファームさんのお馬さんと代表の仁平さん

CHANGE

あきる野市が良くなったコト、モノ

[令和6年度3月議会で可決された予算の一部]

- ・生産年齢人口(15~64歳) 令和5年度 261名 転入超過
- ・新築着工数 : 令和5年 実績 461件
- ・五日市小学校1年生が2クラスから3クラスに
- ・子育てしやすい自治体ランキング 東京圏で15位(2023年)
- ・ふるさと納税返礼品の拡充、多種多様 200品目越え
- ・武蔵五日市駅前拠点施設がついに着工
- ・小中学校給食費の完全無償化(令和7年1月~)

[要望実現]

- ①令和6年能登半島地震を受け、簡易トイレを市内26カ所の指定避難所に緊急配備。
- ②阿伎留神社の倒木の危険性がある木を伐採したいとの地域要望に対応
- ③夏休みの学童保育所にWiFi設置。学校のタブレットで宿題が出ているため要望あり。
- ④会派で小/中学校の給食費無償化の要望を提出し実現。(令和7年1月より)

[要望提出]

災害や渋滞対策として檜原街道のダブルルート化を都に継続して要望。

[国松まさきの3大活動指針]

- 1 過疎化地域の課題解決と活性化
- 2 働き盛り世代の移住、定住促進
- 3 あきる野市を学習と観光の街へ



GUEST TALK

ゲストによるあきる野の好きなおとこ

今回は選挙2周年のため改めての自己紹介です。

私が移住した動機は秋川のみならず地域の文化、人の温かさ、そして電車が都心に通じているところです。きっかけは秋川リパークリフレッシュや「しみず農園」でのコミュニティー。阿伎留神社の風格にも感動しました。その後、ご縁を頂いて市議会議員となりましたが、この仕事の良さは市民の方々と様々な機会に話すことができる点です。皆さまのご要望に応えることができた時の喜びは非常に大きいものがあります。前職では外航海運の船乗りとして世界を旅しましたが、五日市のようなバランスの取れた素晴らしい地域はなかなか無いと思います。その良さを大切に守りながら、更に盛り上げて行けたらと思います。



国松 まさき (くにまつまさき)